

2023(令和5)年5月25日

報道発表資料[本リリース発信元]ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)



ロームシアター京都初となる  
関西音楽シーンの異才アーティスト達による  
“コンポジション(作曲)”プロジェクト!

## Sound Around 003

メインアーティスト・構成: 日野浩志郎  
コラボレーションアーティスト: 古舘健、藤田正嘉、谷口かな、前田剛史

2023年6月24日(土)、25日(日)  
ロームシアター京都 ノースホール

[本リリースに関するお問合せ先]

ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当: 松本、山形、加藤  
電話: 075-771-6051 (10:00~17:00) FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekoto.jp

## ■本企画趣旨

Sound Around 第3回目となる今回は、ロームシアター京都が初めて本格的に「作曲(コンポジション)」にとりむプロジェクトです。日野浩志郎をメインアーティストに迎え、出演者と新曲を書きおろすプロセスにおいて、音生まれ、音楽として人々に届くまでの核となる「作曲」を改めて問い直します。作曲家と演奏家それぞれが意見を交錯させ、かつ既知の作曲手法も参照しながら、音楽における要素の関係性、例えば**作曲者と演奏者の関係性**や、**演奏者とスコアの関係性**における**試行錯誤**をおこないます。

今回の公演は作曲がもたらす“音楽の可能性”を最大に感じることができる**シンプルな演奏会形式**をとります。様々な角度から音楽を楽しみ、音に没入しながら、アーティストと観客が「作曲」についてともに考えを深める機会を創出します。

## ■本企画のポイント

### 多彩な出演者との“コラボレーション(共同制作)”

メインアーティストである日野浩志郎は、実験的なリズムのアプローチを試みるバンド「goat」や「bonanzas」の他、電子音楽を使ったソロプロジェクト「YPY」、電子音とクラシカル楽器を融合させたハイブリッドオーケストラ「Virginal Variations」など、多岐にわたるアウトプットで注目を集めている音楽家です。

日野に加え関西を拠点に国内外で活躍する4名のアーティストが参加し、ディスカッションを通じて新曲を制作しています。ダムタイプや坂本龍一などのプロジェクトにも参加している**古館健**はエレクトロニクスで参加。打楽器を演奏するのは、ヴィブラフォン・マリンバ奏者、作曲家の**藤田正嘉**、打楽器奏者の**谷口かな**、元・太鼓芸能集団鼓童の**前田剛史**です。

本企画では従来の音楽シーンでよくみられる作曲家と演奏家という、ある種のヒエラルキー的な関係性の中で音楽を作るわけではなく、作曲家と演奏家が**役割を超えて作品づくりに取り組む**というところに特徴があります。新進気鋭のアーティストたちが自らの専門性や経験に基づいた視点から音楽を捉え、その意見を交錯させることで、**新たな音楽の可能性**を探っています。劇場とともに挑戦するこの「作曲(コンポジション)」プロジェクトでどのような音楽が生まれるのか、ぜひご期待ください。



クリエイションの様子

## 多岐にわたる打楽器×エレクトロニクス

今作は**打楽器を中心に構成**されており、ヴィブラフォンやマリンバといった鍵盤打楽器のほか、ボンゴやコンガといった民族楽器、ウッドブロックや和太鼓など多岐にわたる種類の楽器が使用されます。この様々な音色を奏でる打楽器が、異なるリズムを互いに呼応させることで規則的にも不規則にも聞こえる、まるでリズム遊びのような世界観をつくりだします。また、そこに**エレクトロニクス**が加わることによって「音色」や「音程」など、リズムだけではない新たな輪郭が浮かび上がってきます。

## ■Sound Around とは

2021年から始まったジャンルや固定観念にとらわれない「音楽」を軸とした表現活動を行うアーティストによるパフォーマンスを紹介するシリーズです。第1回目は作曲家兼パフォーマーユニット「いまいけぶろじえくと」をホストに迎え、コロナ禍で制限された「声／言葉」をテーマに、身体や声を通じたパフォーマンスで新たな音楽の楽しみ方を提案しました。続く第2回目は、モーターと養生テープを使用したサウンドパフォーマンスを行う気鋭のユニット「正直」をホストに迎え、「即興／変化」をテーマに、偶然の中から生まれ、変化していく音をインスタレーション形式で発表。これからの音楽について提言していきました。毎回ホスト(メインアーティスト)と様々なフィールドで活躍する出演者が交わり“音楽の可能性”のさらなる拡張を試みることで、出演者と観客、双方にとって新たな「音楽」との出会いの場となっています。



Sound Around 001 / Sound Around 002 (撮影:中谷利明)







藤田正嘉 / Masayoshi Fujita

ヴィブラフォン・マリンバ奏者・作曲家。ドラムからヴィブラフォンへ転向後、伝統的な演奏スタイルやテクニク、作曲法にとらわれない唯一無二の音とヴィブラフォンの新たな可能性を追求する。2006年よりベルリンにて作曲・演奏活動を開始。ヨーロッパをはじめ各国のイベントに出演。別名義「el fog」での活動や、Jan Jelinekと継続的なコラボレーションを行う等、幅広い活動で評価を受ける。現在は兵庫県を拠点に活動。三上雅彦とのコラボレーションアルバム『Conjecture』(2016)、映画やブランドなどへの音楽提供も行う。2021年には集大成でもあり新境地ともいえるソロアルバム『Bird Ambience』を発表。Korogi社エンドースメントアーティスト。



谷口かな / Kanna Taniguchi

1993年生まれ、京都市出身。京都市立京都堀川音楽高等学校、京都市立芸術大学の打楽器科を卒業。大学在学時から美術家やパフォーマー、ダンサー等との実験的な共演を重ね、卒業後はフリーランスの音楽家として室内楽を中心に活動。とりわけ他分野との即興演奏に力を注ぎ、各地で様々なアーティストと表現を行う。映画や演劇等にも即興演奏で参加するなど活動は多岐に渡る。また、ガムラン合奏団「マルガサリ」メンバーとしてインドネシア音楽に取り組む。グループ内外で、ガムランを使用した現代作品の演奏や、新作初演に数多く携わる。「オーケストラ・プロジェクト2022」で東京フィルハーモニー交響楽団と共演。會田瑞樹氏とのヴィブラフォンデュオリサイタル「空飛ぶヴィブラフォン」では京都室内合奏団と共演し、好評を博す。2020年4月～2022年3月まで京都文化芸術都市創生審議会市民委員(京都市文化芸術都市推進室)。京都室内合奏団、アンサンブルさいさい、マルガサリ、各メンバー。師事歴は、マリンバと打楽器を、伊藤朱美子、小森邦彦、宅間齊、布谷史人、堀内吉昌、山本毅、ガムランをシスワディの各氏。



前田剛史 / Tsuyoshi Maeda

阪神淡路大震災の復興活動の一環で幼少期より和太鼓に親しみ、2008年より「太鼓芸能集団鼓童」入座。約10年間に在籍し年間100公演を超える国内外のツアーに参加。鼓童在籍中は太鼓演奏、唄、笛、鳴り物、踊りを担当。その他、作曲や舞台演出もこなし「佐渡国際芸術祭アースセレブレーション」、鼓童における全国の「学校公演」、特別演出公演「若い夏」など、多数の舞台演出を手掛ける。また歌舞伎俳優で人間国宝の坂東玉三郎と「アマテラス」「幽玄」で共演。国内ではその他にもヴァイオリニストの川井郁子や、演歌歌手の坂本冬美、アーティストのAI(アイ)、音楽家/映像作家の高木正勝や初音ミクなど、その他にも多数の国内外のアーティストとの共演実績がある。現在はソリストとしてこれまでの経験を活かし独自の音楽性、演奏表現を追求している。

## ■公演情報

公演名:Sound Around 003

日時:6月24日(土)19:00開演、6月25日(日)14:00開演 ★託児あり

(上演時間:約1時間)

会場:ロームシアター京都 ノースホール

出演・スタッフ:

メインアーティスト・構成 | 日野浩志郎

コラボレーションアーティスト | 古舘健、藤田正嘉、谷口かなな、前田剛史

音響 | 西川文章

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

助成:文化庁文化芸術振興費補助金

劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)

独立行政法人日本芸術文化振興会

チケット[発売中]:

全席自由 一般2,500円、ユース(25歳以下)1,500円、18歳以下1,000円

※未就学児入場不可

チケット取扱:

■オンラインチケット 24 時間購入可 ※要事前登録(無料)

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

■ロームシアター京都チケットカウンター

[窓口・電話 TEL.075-746-3201(10:00~17:00、年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)]

■京都コンサートホールチケットカウンター

[窓口・電話 TEL.075-711-3231(10:00~17:00、第1・3月曜休 ※祝日の場合は翌日)]

問合せ先:ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

公演WEBページ:<https://rohmtheatrekkyoto.jp/event/103404/>